

事業別活動計算書

2020年4月1日から2021年3月31日まで

(単位:円)

科目	事業区分	指定管理 (収益事業)	自主事業 (非営利事業)	事業計	管理 (非営利事業)	合計
I 経常収益						
1. 受取会費			0	0	104,000	104,000
2. 受取寄付金		0	1,205	1,205	0	1,205
3. 受取助成金等		0	0	0	0	0
4. 事業収益						
自主事業収益		488,668		488,668		488,668
受託事業収益		27,238,240		27,238,240		27,238,240
事業収益計		27,726,908	0	27,726,908	0	27,726,908
5. その他収益		166	0	166	0	166
経常収益計		27,727,074	1,205	27,728,279	104,000	27,832,279
II 経常費用						
(1) 人件費		22,613,129	0	22,613,129	60,000	22,673,129
(2) その他経費		3,954,995	9,939	3,964,934	150,715	4,115,649
経常費用計		26,568,124	9,939	26,578,063	210,715	26,788,778
当期経常増減額		1,158,950	△ 8,734	1,150,216	△ 106,715	1,043,501
III 経常外収益						
経常外収益計		0	0	0	0	0
IV 経常外費用						
経常外費用計		0	0	0	0	0
当期正味財産増減額		1,158,950	△ 8,734	1,150,216	△ 106,715	1,043,501
前期繰越正味財産額						11,551,999
次期繰越正味財産額						12,595,500

※当該年度は、その他の事業は実施していません。

貸借対照表

2021年3月31日現在

科目	金額 (円)	
I 資産の部		
1. 流動資産合計	15,798,541	
資産合計		15,798,541
II 負債の部		
1. 流動負債合計	3,203,041	
負債合計		3,203,041
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	11,551,999	
当期正味財産増減額	1,043,501	
正味財産合計		12,595,500
負債及び正味財産合計		15,798,541

2020年度の役員構成

理事長：長谷川 美津代

副理事長：鍵谷 誠一

理事：片岡 誠 (事務局長)、金指 弘、
春貴 勇力、半崎 智恵美、宮村 佳子、
柳瀬 真佐子、谷田 成司、花立 都
世司、柳田 康人

監事：児島 伸幸、中江 理晶



ANNUAL REPORT 2020



年次報告書

■2020年2月からの新型コロナ感染拡大に伴い多くの市内施設が休館し、ラコルタもその影響を大きく受け、いろいろな事業中止が続く1年となりました。また、3密を避ける感染予防の対策によって、人々が共に考え行動する機会を奪われ多くの市民活動が停滞し、団体自体の存続も危うくなり、大きく市民社会の在り様に変化した年でもありました。

■そこで、当法人は窮地にたっている NPO 団体を支援すべく、北摂の市民公益活動センターを運営している中間支援5団体に呼びかけ「北摂 NPO・SB 支援のための緊急補助金プロジェクト」(2020年6月～2021年12月)を協働で立ち上げ、市民から約200万円(2021年3月末現在)の寄付を集めました。今年度は、北摂の14団体に一律10万円の補助を行い、補助金を贈呈するだけでなく、運営の伴走支援も行っています。この伴走支援を通して、中間支援に携わる人材育成の仕組み作りにも取り組みました。

■このように本事業では、北摂エリア全体で取り組むことにより、非常時の中間支援団体の役割や機能の問い直しを図り、NPOの力が活かされる協働を実現することができました。同時に中長期を見据えた中間支援団体としての基盤整備への一歩を踏み出すこともできたのです。

NPO法人市民ネットすいた

Civil Network Suita

指定管理事業 (ラコルタの運営)

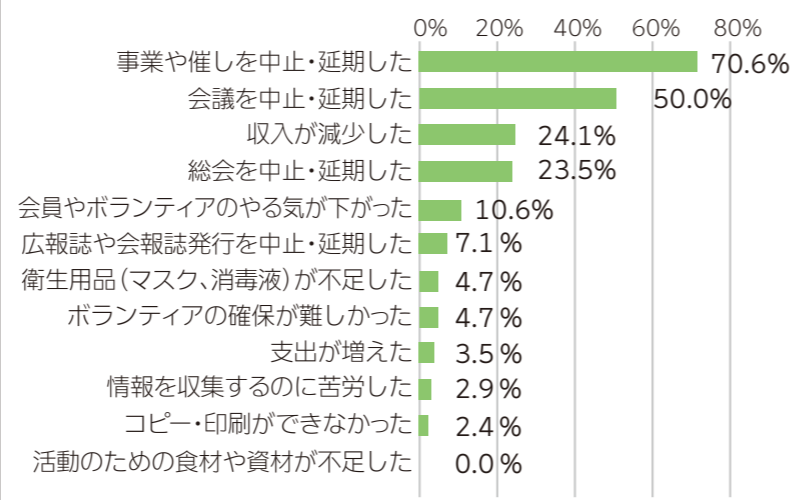
コロナ禍に対する政府の緊急事態宣言を受け、2020年2月から段階的に利用の制限を行いました。緊急事態宣言とともに大阪府のレッドステージを考慮し、臨時休館期間はのべ約6か月間に及びましたが、その間にも、貸しスペースの利用、相談、会議室の申し込みやキャンセルなどの対応は継続しました。

これだけの長期間の臨時休館措置や利用制限は、まさにラコルタにとっても非常事態であり、今後も繰り返される可能性もあることから、市民公益活動の促進、中間支援機能の維持、ウィズコロナの時代の新たな中間支援の在り方について検討しながら、事業に取り組みました。

6月に市民公益活動団体へのヒアリングと7～8月にかけてガイドブック掲載団体へのアンケート調査を実施。コロナ禍における影響を分析し、対策について担当課に提示することで、市民公益活動への支援策の検討を求めました。

また、調査結果をエビデンスとしてオンラインでの講座事業や交流事業の実施、施設利用者へのオンライン機器の貸し出しと利用時のサポート、団体のオンライン化の相談とサポートなど、市民公益活動団体及び施設利用者に対する活動支援や施設の利便性向上の可能性を提示しました。

コロナ禍の影響が出たと思われる項目 (複数回答あり)



【調査対象】吹田市市民公益活動団体ガイドブック掲載団体(273団体)
【回収数】181団体(回収率:66.3%)



▲「オンライン会議 体験会」の様子

自主事業

●各諸団体・NPO 組織との連携

本会理事が多くの自治体や団体の審議委員・評議委員として活動しました。

- ・公益財団法人吹田市文化振興事業団 評議員
- ・NPO 法人吹田歴史文化のまちづくり協議会 評議委員
- ・吹田市高齢者生活支援体制整備協議会 委員
- ・吹田市制施行80周年プロジェクト会議 委員
- ・吹田市人権施策審議会 委員
- ・吹田市立男女共同参画センター運営審議会 委員
- ・南山田市民ギャラリー 第三者モニタリング 委員
- ・R3年度鶴見区コミュニティ育成事業 選定委員
- ・R3年度大阪市城東区における新たな地域コミュニティ支援事業 選定委員
- ・大阪市地域公共人材選考会議 委員
- ・大阪市市民活動総合支援事業 事業者審査会議 委員
- ・大阪市生野区 区役所附設会館 指定管理者 選定委員
- ・大阪市旭区 区役所附設会館 指定管理者 選定委員
- ・大阪市鶴見区 区役所附設会館 指定管理者 選定委員
- ・大阪市城東区 区役所附設会館 指定管理者 選定委員
- ・大阪市東成区 区役所附設会館 指定管理者 選定委員
- ・吹田市国際交流協会日本語教育事業 運営委員会 委員

●市民ファンドの事業化

コロナ禍で窮地にたっている北摂の NPO 団体を支援するために、北摂の市民公益活動センターを運営している中間支援5組織に呼びかけ『北摂 NPO・SB支援のための緊急補助金プロジェクト』を協働で立ち上げ、市民から寄付を集めました。コロナ禍の影響が最も大きいと思われる高齢者や子どもを対象とした事業を行っている団体や事業者を対象に、資金調達の経験が少ない、工夫しながら事業を継続している、今後に備え基盤整備の見直しを図るための中間支援の伴走支援を受けられるといった要件のもと、今年度内では14団体に一律10万円を補助し、団体運営の伴走支援を行っています。



同時に本事業は、伴走支援を通して中間支援に携わる人材を育成する側面も持ちます。北摂の市民公益活動センターの現場スタッフの交流だけではなく、団体の伴走支援を通して OJT (On the Job Training) の効果も図り、中長期を見据えた中間支援団体の基盤整備にも活かすことができました。



▲理事による名演技(動画)で寄付を呼びかけました